



二第 606 号
平成 19 年 4 月 23 日

国土交通省道路局長 殿

二宮町長 坂本 孝也



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

貴職から依頼されました、今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見について、下記により回答しますので宜しくお願いします。

記

- ・ 重点化を進める上で特に優先度の高い政策
 - 1、大都市圏の環状道路の整備ネットワーク化
 - 2、生活基盤道路の整備・バリアフリー化

○ 大きな視点では、物流ネットワーク化や首都圏への流入による交通渋滞の解消を図る必要があること。また一方で、地域課題として高齢者・障害者等の自立した日常生活の基盤となる生活道路の整備やバリアフリー化の整備が望まれている。

- ・ 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと
 - 1、事業計画にあたって、早い段階から情報提供をはかり、国民等の意見を十分に反映させる必要がある。
 - 2、事業実施にあたって、開始前の必要性や事業評価を行うと同時にスケジュール管理等の情報提供を行う必要がある。

○ みえる事業推進 (情報提供) を更に行う必要がある。

- ・ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関すること
 - 1、既存施設の弾力的運用を更に推進する必要がある、特に渋滞解消ができる高速道路等の料金の時間帯弾力化や、地域特性を考慮したスマートICの設置が必要である。
 - 2、地方道整備臨時交付金は真に必要な、地域課題解決の交付金として捉えられる制度として活用されていますので、更に交付金の確保が必要です。

○ 既存施設の活用により地域課題解決に向けた提案制度の創設や、更に柔軟な交付金制度の改善が必要である。